

第5回

# 国見版 C I 検討委員会

2024.1.19

# 前回の振り返り

フレーズ（案）

寄り町

STAY

国見町

を提案しました。

# 前回の振り返り

## フレーズ（案）についての意見

- 「寄り町」という言葉に負けないよう、道の駅以外にも町内の立ち寄る場所の整理が必要
- 「寄り町」というコンセプトについては共感するところが多かったが「S T A Y」が唐突感がある。グラフィックとのバランスでS T A Yが活きるのであれば残しても良いと思う。

今回は

このフレーズ（案）に合わせた

イメージグラフィック（案）の提案をさせていただきます。

前置きとして

町には町章が定められています。



1955年(昭和30年)に制定。

3つの国を組み合わせ「融和」を表している。

今後も町を表現するものとして使用していく。

町章とは別に町を表すものとして、グラフィック(案)を提案させていただきます。

# 「町のブランディング」を 私たちはこう考えます。

その町ならではの歴史、文化、自然、人が付加価値であり、今はその延長線にある事をしっかり認識、その上でこれからの町づくりの方向性を定め、町民にわかりやすく可視化することです。

国見町のブランディングにあたり、大事なこととして、以下の要素といたしました。

# イメージグラフィック（案）・6つの必要要素

**1** AI には出来ない発想と智恵  
AI、誰にでもマークがデザイン出来る時代であればこそ、人間らしい感性のある手描きのデザインとする

**2** 他の市町村との違い  
これまででない、デザイン性の必要性  
見たまま、一点のみで国見らしく物語性

**3** 町の付加価値を表現  
1000 年前～今も未来も通りたくなる  
道文化創出、利便性続く町

**4** 町の活性化事業を可視化  
国見のこれからの事業の方向性を  
わかりやすく可視化

**5** 未来ある子供達への  
メッセージ性  
次世代、子供達に国見の魅力を可視化

**6** 観光・インバウンド  
時代に対応  
インバウンド時代、観光地として  
外国人が見てわかるグラフィックとする

# 国見町は、昔から交通の要衝であった

- ・ 阿津賀志山防塁による主要交通路の遮断

- ・ 街道が整備された

- ・ 街道沿いには宿場町が整備された



それは現在も続いており、交通の要衝として  
交通網が整備されている



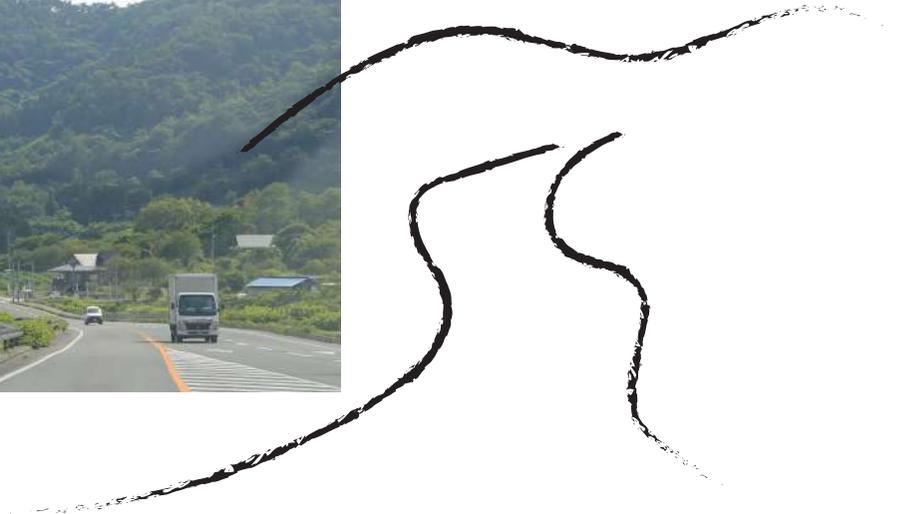
町民の方へのインタビューやアンケートでも、  
国見町の推しポイントは「交通の便が意外と  
良いところ」との声があった。

- ・ 仙台市へのアクセス良
- ・ 東京へもアクセスしやすい

# イメージグラフィック（案）コンセプト

昔も、今も、これからも、あつかし山から広がる  
利便性を表現

1000年の歴史ある町だからこそ、  
あつかし山から未来へつづく道



# イメージグラフィック（案）作成にあたり

AI 時代に向かう今であればこそ！  
1000 年の歴史ある国見ならではの  
物語の気配を取り入れたい

## 国見の絵図



小坂村絵図（江戸時代後期）  
〔「小坂区有文書」より〕  
※福島県歴史資料館委託



天保年間（1830~1844）  
藤田村絵図

## 「絵図」とは

広辞苑より

1. 絵。画像。
2. 家屋・土地などの平面図。

ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典より抜粋

日本で、近世以前に作られた地図類の総称。  
古絵図の語もほぼ同じに用いられる。絵図という語は、11 世紀ごろから史料に出てくる歴史的用語で、初めは荘園図や寺域図などのように、条里制の土地所有関係を示す班田図（田図）に、山、川、湖、海、道路など絵画風の表現を交えたものを絵図と称した。

1000 年前から変わらない  
「あつかし山」を望む風景～こ  
れからも変わっていくものを

**道** を中心に表現

単体使用でも理解できる  
「絵図風デザイン」の  
イメージグラフィック（案）とする



## グラフィック（案） 作成にあたり

将来を担う子どもたちの声  
を取り入れるため  
町内の小学生に協力してもらい  
ワークショップを行いました。  
（少年仲間づくり教室生）

## ワーク

町の“押し”について考え、絵に描いてもらいました。

町のいいところ、他の町の人におすすめしたいもの、場所、食べ物、景色など

# 子どもたちの描いたもの

- ・ 道の駅
- ・ 中尊寺蓮
- ・ 田
- ・ 国見小学校
- ・ コンビニ
- ・ くにみももたん
- ・ 観月台

# 子どもたちの描いたもの

- ・ 桃
- ・ りんご
- ・ La 4 区魔法のプリン
- ・ ベーカーリーさくまの  
黒パン
- ・ くにみバーガー
- ・ イノシシ

交通の利便性を活かし、通過するだけでなく  
多くの人に立ち寄ってもらいたい  
みんなが寄りたい町の意味を込めて

寄り町

よ り ま ち

フレーズ (案)

寄り町

STAY

国見町

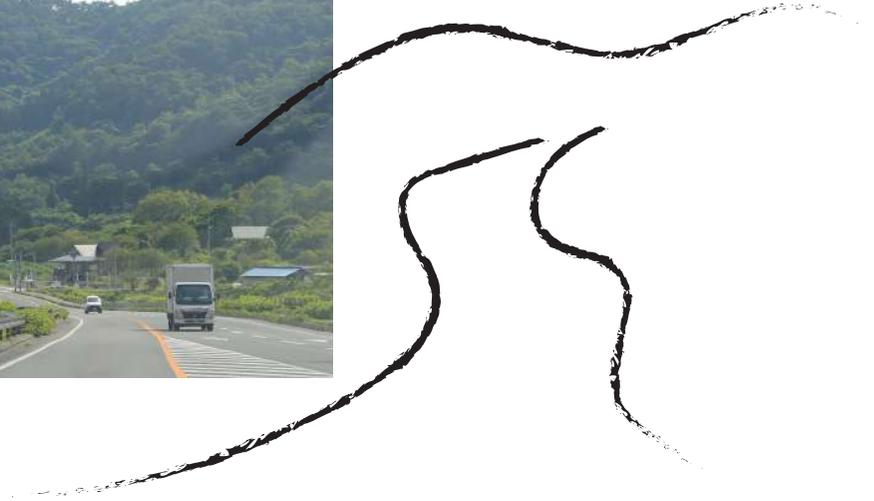
# 寄り町

- ・ 1000 年前から多様な人々が立ち寄った利便性と魅力がある町
- ・ これからも寄り道してほしい魅力あふれる町に
- ・ まずは少しでも気になったら寄ってもらいたい、町を知ってもらいたい

# STAY

- ・ 人などがとどまる、滞在する、泊まる、住むの意味
- ・ 町に寄ってもらい、気に入ってもらえたら、また寄ってもらい、滞在してほしい
- 最終的には住んでももらいたいという想いをこめて

# 国見町



1000年の歴史ある国見町、あつかし山から未来へつづく

**道**を中心に「国見町の子どもたちの作画」で

出された意見をもとに図案化し、

イメージグラフィック（案）を作成しました。

# イメージグラフィック（案） カラーテーマ

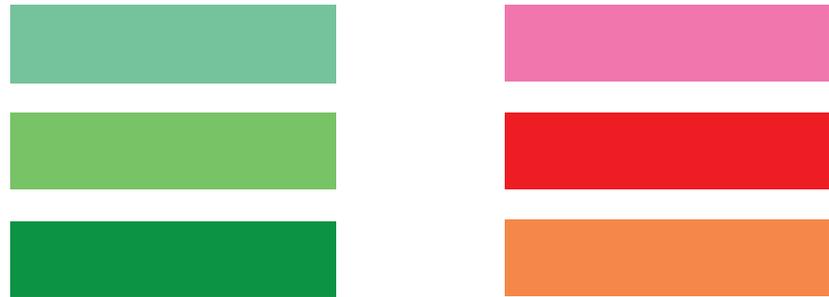
国見の上質な農作物を創出しつづけた  
「良質土壌」カラーをベースとした  
国見あつかし自然環境カラー



ベースカラー  
国見の良質土壌カラー



サブカラー  
国見の自然環境・農作物カラー



# グラフィック (案)



# グラフィック（案）



# グラフィック（案）の展開イメージ

よ まち  
寄り町  
S T<sub>ステイ</sub> A Y  
国 貝 町  
くにみまち  
Fukushima Kunimi

1色刷り

よ まち  
寄り町  
S T<sub>ステイ</sub> A Y  
国 貝 町  
くにみまち  
Fukushima Kunimi

2色刷り

# グラフィック（案）の展開イメージ

寄<sup>よ</sup>り<sup>まち</sup>町 ST<sup>ステイ</sup>AY 国<sup>くに</sup>見<sup>み</sup>町<sup>まち</sup>  
Fukushima Kunimi

横長スペース使用時

# グラフィック（案）のフォント違い

## A 案



# グラフィック（案）のフォント違い

## B 案



# グラフィック（案）のフォント違い

C 案



# グラフィック（案）のフォント違い

## D 案



# 今後の進め方について

1月下旬～2月

素案についての  
意見集約



3月

出された意見の確認、  
修正作業